

今年度も引き続き、校長室から日頃の「雑感」をお届けいたします。昨年度は例年以上に数多くの生徒の皆さんが校長室に足を運んでくれ、大会報告や各種イベント案内など、様々なお話を聞かせてくれました。教育活動はもちろん、そうした生徒の皆さんとの談話等も交えながら綴ってまいりますので、ご笑覧いただけましたら幸いです。

**One for all, All for one. No.1**

### R6. 3.31 「新入生オリエンテーション」

昨年度末に、令和6年度入学予定の皆さんを対象にオリエンテーションを実施しました。学校生活全般における本校の基本的な考え方やいくつかの約束ごとを事前に理解していただき、少しでも心に余裕を持ち入学していただくことを目的としています。

高校での学習内容、出欠に関わる事項、交通手段など、中学校との大きな違いについて概要を説明させていただきました。



時節柄お忙しい折にもかかわらず、保護者の皆様にも足を運んでいただきお子様と一緒に説明を聞いていただきましたことに厚く御礼申し上げます。



また、本校在籍の各部活動の皆さんが催しの運営に積極的に協力してくれました。資料準備や受付、会場設営から片付けに至るまで、沢山の生徒さんが手際よくお手伝いをしてくださいましたことを嬉しく思うとともに心より感謝いたします。

**One for all, All for one. No.2**

### R6. 4. 1 「辞令交付式」

今年度、新たに4名の先生方に本校に来ていただくことになりました。ご紹介は後日改めて掲載いたしますが、頼れる仲間とともに新年度を迎えられることは何よりの喜びです。生徒の皆さんも楽しみにしてください。



もう一つ大きなニュースがあります。現在、次年度に向け全教室天井に大型エアコンを設置しています。工事も順調に進み、今夏は空気清浄機も併用しながら快適な学習環境が整います。

充実した施設・設備の中で進路と直結するより専門的な学びを深め、一人一人が進路を真剣に考え、夢を実現してくれることを願うばかりです。

**One for all, All for one. No.3**

### R6. 4. 5 「吹奏楽部から嬉しい報告」

先頃、埼玉で開催された「第22回ジュニア打楽器アンサンブルコンクール」で、見事「優秀賞」に輝いた吹奏楽部の皆さんが校長室に報告に来てくれました。今回は3名での

参加、息の合った合奏に審査員の皆さんからも沢山のお褒めのご講評をいただきました。「優勝賞」の中でも「最優秀賞」に最も近いとされる「審査員特別賞」をいただけたのは、まさにその証と言えます。

初の全国大会出場となった2年生 橋内 紗矢香さんは「本番で使用する楽器が普段のものとは異なり動揺もありましたが、何事も臨機応変に対処する力を身に付けることの大切さも学ぶことができました」と、前向きな姿勢に今後の活躍が益々楽しみです。

同じく2年生の 植田 和翔君「演奏前の緊張もありましたが、最後までやり切れたことは大きな自信になりました。また、他校の高度な技術も目の当たりにでき良い刺激となりました」と、橋内さんと共に部の中心的役割を担っていこうとする強い自覚を感じます。

この二人をまとめてきた 野原 桜生君は「異なる楽器の使用、かつ大ホールでの演奏ということもあり、普段の練習とのギャップに少し戸惑いはありましたが、二人の後輩が練習の成果を存分に発揮してくれたので、最後まで楽しく演奏することができました」と、全国大会に何度も出場しているだけあり言動にもオーラを感じます。

頼もしい3名をはじめ、本校吹奏楽は技術的にも人間的にも成長著しいメンバーばかりです。少しでも関心のある新入生の皆さんは、是非練習風景をのぞいてみてください。



#### One for all, All for one. No.4

#### R6. 4. 8 「春の訪れ」



茶華道部の皆さんが新年度を迎えるにあたって、「春を」を感じさせる花々を校内に飾ってくれました。この時期は保護者の皆様をはじめ来校者も多く、こうした心遣いは本当に嬉しいものです。

校長室にもきれいなお花を飾っていただき、見るたびに心が和みます。茶華道部の皆さんには、いつも感謝の気持ちでいっぱいです。

本校には作法室があり、茶華道に必要な用具等も完備しています。また、定期的に専門の先生がお見えになります。新入生の皆さんも一度見学してはいかがでしょうか。



#### One for all, All for one. No.5

#### R6. 4. 8 「着任式」

今年度新たに5名の先生方をお迎えすることになり、始業式前の着任式で在校生の皆さんにご紹介をしました。

未来推進室に着任された 片原 俊光先生は公立学校で校長先生を歴任され、この度ご縁があり本校にお越しいただくことになりました。学び支援と地域連携の仕事を中心に生徒

の皆さんをサポートしていただきます。



石館 亮一先生も公立高等学校からのご異動で、保健体育の教諭として勤務いただきます。陸上競技を専門としておられ、各種目で活躍する選手を多数育ててこられた実績をお持ちの先生です。

斎藤 達弘先生はサッカークラブに従事しながら教壇にも立たれてこられました。この度正式に本校教諭としてお勤めいただけることになりました。地歴公民を担当され、サッカー部

顧問としても選手の育成にお力添えをいただきます。

今 飛翔先生は今春大学を卒業したばかりの新進気鋭の先生で、国語を担当していただきます。大学時代はラグビー部キャプテンとして大いに活躍されたスポーツマンでもあります。

山本 快成先生も同じく大学を卒業されたばかりエネルギッシュな先生です。高校時代はサッカー部で活躍するなど、文字どおり文武両道を実践されてきた先生です。

頼もしい新メンバーと共に、今年度もより良い学校づくりに全力で努めてまいります。

**One for all, All for one. No.6**

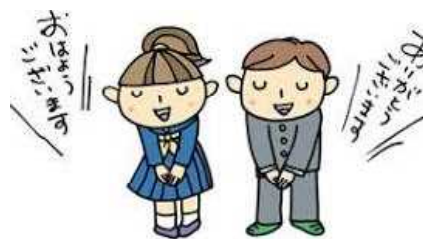
#### R6. 4. 8 「始業式」

各々が一つ上の学年となり、自覚と責任を感じながらの新年度のスタートとなります。生徒の皆さんには、目標達成に向け、希望に満ちた一年であって欲しいと願っています。

さて、4月は「出会いの月」でもあります。まもなく入学してくる1年生との出会い、新しいクラスメイトや先生方との出会いなど様々な出会いがあります。

始業式では、大切なコミュニケーションを図るために挨拶の習慣をつけて欲しいこと、そして常に相手の立場や思いを慮りながら接することのできる優しさを身に付けて欲しいことの2点についてお話をしました。

良好な人間関係と前向きで豊かな人間性を培ってけることを期待しています。



**One for all, All for one. No.7**

#### R6. 4. 8 「入学式」



保護者の皆様をはじめ、お祝いにご臨席くださいました多数の関係各位が見守る中、新たに202名の皆さんがご入学されました。在校生・教職員を代表し、心よりお祝いと歓迎を申し上げます。

式辞では、「感謝の心」「主体的な学び」「健康と体力」の3点についてお話をさせていただきました。

新入生の皆さんには、各自の目標に向かって、学習

活動はもちろん、部活動、学校行事、生徒会活動等に全力で取り組み、やがて持続可能な社会の創り手として大きく羽ばたいてくれることを期待しています。

「誓いの言葉」では、新入生代表の 中川 まおさんが「これから始まる高校生活では、勉強や部活動に精一杯打ち込み、充実した三年間にしていきます。(中略) 私たち新入生はお互いに良い影響を与え合い、良い刺激をし合える関係を築いてきます。」と力強く誓ってくれました。



**One for all, All for one. No.8**

#### R6. 4. 9 「対面式・部活動紹介」

生徒会が主催する新入生歓迎の「対面式・部活動紹介」が本校体育館で行われました。吹奏楽部、書道部、合唱部合同によるパフォーマンスに続き、壇上のスクリーンには各部の活動内容やコメントが映し出されます。



本校には体育系、文化系の部活動に加え、同好会、外局を含めると30近くの活動があります。



部活動の良いところは、なんといっても異なる学年と一緒に活動したり、他校生と交流することで視野が広がり、社会性や協調性が育まれることだと思います。

「興味・関心がある」「これなら自分でも頑張れそうだ」「自分を成長させることができそうだ」という活動があれば是非挑戦してみてください。

最後に、生徒会長の3年 竹内 日葵さんから温かな「歓迎」の言葉があり、それに対して、新入生代表の 栗本 愛海さんが「感謝」の言葉を返しました。

校風は生徒と教職員が一緒になって創り上げていくものです。生徒自らが考え、行動を起こす、こうした生徒会行事を今後も大切にしていきたいと思います。



**One for all, All for one. No.9**

#### R6. 4.11 「進路オリエンテーション」

公務員試験、就職試験、総合型選抜等による大学入試や専門学校の推薦入試など、本番まであと数か月というところまで迫ってきました。3年生にとっては、人生を大きく左右する大切な時期だけに講師の話に真剣に耳を傾ける姿が見受けられました。



進路別に分かれた各オリエンテーションには、その道の専門講師をお招きし、今後の試験日程や学習スケジュールの立て方等について詳しくご説明いただきました。

最上級生になってまだ数日ではありますが、もはや社会人になるための準備は本格的に始まっています。進路実現に必要な学力を身に付けることも大切ですが、日々の言動に自覚と責任を持ち、社会人としての資質を備えておくことも忘れてはならないことです。

## One for all, All for one. No.10

### R6. 4.12 「前期生徒会総務役員」

前期生徒会総務役員の皆さんが校長室を訪れ、今後の生徒会活動についての抱負を聞かせてくれました。



新会長の3年生 竹内 日葵さんは、前回は副会長として生徒会活動の充実に大きく貢献してくれました。「校舎がせっかく自然豊かな環境にあるので、周辺の美化や空地の有効活用に努め、さらに地域に溶け込む雰囲気のある学校にしていきたいです」と、校長としてこの上ない嬉しい構想を聞かせてくれました。

前会長を務めた3年生 木下 恵斗君は竹内さんとの息もぴったりで安心感が漂います。「生徒が先生方との話し合いに積極的に参加し、生徒自身が主体となって学校課題解決に関わっていくことが大切だと思います。そのためにも他人任せにするのではなく、在校生皆が身近な問題に関心を持つようにしていきたいと考えています」と、さすが会長経験者だけあり頼もしい言葉が返ってきました。

副会長の2年生 武田 望来君と、同じく2年生の 坂井 弥月さんも前回に続いての総務役員となります。「対話、人権、そしてジェンダー平等を包括した性教育を普及し、正しい知識を理解することで、将来の幸せにつながる適切な行動がとれる高校生を増やしていきたいです」と声を揃えます。正しい知識を持つことで、逆に知らないことへの恐ろしさを感じた経験から出た言葉には説得力があります。



前回は副会長を務め、今回で四期目となる3年生 高桑 温子さんは「自分自身のやるべきことも沢山ありますが、これまでの経験をみんなのサポートに少しでも生かせたらと思い、書記次長に立候補しました」と、在校生代表としてのオーラはもちろん、現総務役員にとって何よりも心強い存在です。

生徒会会計の3年生 坂田 恭君は「生徒会は初めての経験ですが、楽しい雰囲気になりたいのと、生徒の要求を言葉だけで終わらすのではなく実行力の伴ったものになるよう働

きかけていきたい」と、活気を引き出すムードメーカーにもなってくれそうです。

同じく生徒会会計を務める3年生 備中 ころろさんは「細かなごみの分別や空き缶のリングプルの回収など、社会環境やSDGsに関わる活動を着実に進めていきたいです」と、誰もが身近にすぐできる有効的な取組を考えてくれています。

他にも、国際交流や社会貢献、ユネスコスクール認定校としての活動、障がいを知り共に生きるあいサポート運動などについても様々な取組やアイデアを示唆してくれました。

前期は龍谷祭といった大きな行事も控えており、生徒会総務役員の皆さんにとっては大変忙しい日々が予想されますが、在校生の牽引役として活気ある学校づくりに大いに尽力してもらえるものと期待しています。在校生の皆さんの協力も是非お願いします！

### One for all, All for one. No.11

#### R6. 4.17 「認証式」

各クラスの前期ホームルーム役員が出揃い、全校集会で委員長と副委員長の認証式を執り行いました。



生徒会会長の 竹内 日葵さんから新たなホームルーム委員長と副委員長が在校生に紹介され、大きな激励の拍手を受けました。

委員長と副委員長の役割はとても重要で、クラスの意向をまとめ、それを生徒会執行部と連携しながら各行事や諸活動に反映していきます。また、先生方とコミュニケーションを図り、学校づくりにも積極的に参加していくいただくことになります。

在校生全体の模範となり、リーダーシップを発揮してくれることを期待しています。

### One for all, All for one. No.12

#### R6. 4.18 「One Day 研修」

新入生対象のオリエンテーション「One Day 研修」を大雪アリーナを会場に行いました。

この行事は、本校の教育理念や様々な約束事などについて理解を深めることで充実した高校生活を送ってもらうことと同時に、レクリエーションでの交流を通して学校生活の不安や緊張を和らげることを目的に毎年行っているものです。



午前中は、生徒指導上の決まりや学習に対する約束事、進路実現までの流れなどについて理解を深めたあと、皆で校歌の練習も行いました。

午後からは、大縄・5色綱引き、ドッジボールなどクラス対抗によるレクリエーション

で親睦を深め合いました。

終日、同一行動することで校風にも徐々に溶け込み、クラスメイトとの距離感に至っては随分と縮まったようです。

これからの三年間を仲間とともに実りある日々にして欲しいものです。

### One for all, All for one. No.13

#### R6. 4.21 「インターアクトクラブ」

生徒会直轄のインターアクトクラブ（通称 I A C）が、旭川市主催の「ごみのポイ捨て禁止運動」春季街頭啓発及びごみ拾い実践活動に参加しました。

この取組には学校関係者のみならず、企業や商店街、市民団体等、約 100 団体総勢 1,700 名以上の市民の皆さんが参加し、ごみに対する意識の高揚と清潔で美しいまちづくりを目的に、例年、春と秋の年 2 回実施されています。

インターアクトクラブには、生徒会総務役員や他の部と兼務している生徒も数多く在籍し、その都度時間に都合のつくメンバーが集い、一年を通してこうしたボランティア活動に積極的に参加しています。

自らの意思で社会貢献に取り組む子どもたちの姿に、私自身いつも多くのことを学ばせてもらっています。



### One for all, All for one. No.14

#### R6. 4.23 「吉田学園（札幌）との連携」

本校では昨年度から一般的な高等学校の学習内容に加え、生徒の興味・関心に合致する、より専門的な内容を学ぶことのできる「フィールド」という科目選択群を教育課程に組み込みました。

複雑多様化する職種や業務内容、必要なスキル等の理解を深めることで、将来の進路目標をより明確にし、学習意欲の向上やミスマッチのない進路選択を可能にしたいという発想からの試みです。

その専門性をさらに充実した内容にするため、確かなノウハウで高い進路実績を持つ吉



田学園とこのたび連携協定を結ぶこととしました。

吉田学園は 30 以上の学科を有し、緊密なネットワークの中でスペシャリストの皆さんが高度な専門的授業を行っています。

様々な連携事業を通してキャリア支援を行っていただく中で、より高いレベルでの文武両道を実現し、子どもたちの豊かな人生につなげるきっかけにしたいと考えています。

#### R6. 4.24 「花まつり」

仏教を開かれたお釈迦様のご誕生をお祝いする「花まつり法要」を体育館で執り行いました。

三帰依、聖歌に続き、各クラスの代表生徒がお釈迦様を取り囲んで「灌仏（かんぶつ）」の儀を執り行います。

この儀は、お釈迦様のご誕生に天が感動し「甘露の雨」を降らしたとことになぞらえ、誕生仏に甘茶をそそぎ、お祝いの心を表すものです。

法話では、宗教教育担当の藤島教諭から「お釈迦さまは、一人一人の命の尊さを唱えています。誕生とは、私たち一人一人の誕生を祝うことであると同時に、家族や多くの人の支えによって自分が生かされていることを再確認し、感謝する日でもあります」と話されました。

厳粛な雰囲気の中、全校生徒が緊張感を保ち整然と法要に勤める姿が印象的でした。



#### R6. 4.27 「学校開放デー」

日頃の教育活動を多くの方々を知っていただきたく、年2回の学校開放を行っています。好天にも恵まれ、学校施設や授業風景の参観に120名以上もの保護者の皆様ご来校くださいました。厚く御礼申し上げます。



一昨年の移転時に校内全域に Wifi 環境を整え、以降 I C T 機器の充実を図ってきました。以前とは異なる新しい授業実践や生徒の主体的活動がより新鮮に映ったものと拝察いたします。

また、今年度より全教室・講義室にクーラーと空気清浄機を完備し、快適な学習環境を直に見ていただけたことも幸いです。

学校でのお子様の姿には、ご家庭とはまた違う様相が現れます。日々成長し続けているお子様の様子を、様々な場面を通してご覧いただけるよう、引き続きこのような機会を増やしていきたいと考えています。

#### R6. 4.27 「保護者の会総会」

学校開放デー終了後に、保護者主催の総会が本校会議室にて開催されました。より良い学校づくりやお子様の確かな成長を促すには、学校と家庭、そして地域社会が緊密に連携していくことが肝要です。

保護者の皆様が主体となる当会は、各種事業を通して学校とはまた異なる視点から子どもたちを支援してくれます。また、会員の皆様の貴重なご意見やご要望は、学校課題解決



の糸口を見つける上で欠かせないものでもあります。

総会では令和6年度の新たな事業として、会員の皆様方の親睦を図ることを目的とした研修会がご提案され承認されました。

会員同士のつながりから新しい発想や事業推進力が生み出され、大きな力となって教育活動等に反映されていきます。

研修会は7月か10月あたりに開催の予定です。是非多くの皆様にご参加いただきますようお願い申し上げます。

